

事業コード・事務事業名	29000	道路維持管理費	予算科目	会計	款	項	目	掲載計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略
			一般	8	2	2	<input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画		
施策体系	基本施策	17	安全で快適な道路の整備	所管課	建設課				<input type="checkbox"/> 新市建設計画
	施策の展開	36	市道の整備	担当班	管理班				<input type="checkbox"/> 定住自立圏共生ビジョン
	戦略事業名	172	市道の維持補修事業	開始年度	不詳				<input type="checkbox"/> 過疎地域持続的発展計画
			根拠法令	道路法、旭市法定外公共物管理条例				<input type="checkbox"/> R4主要事業	

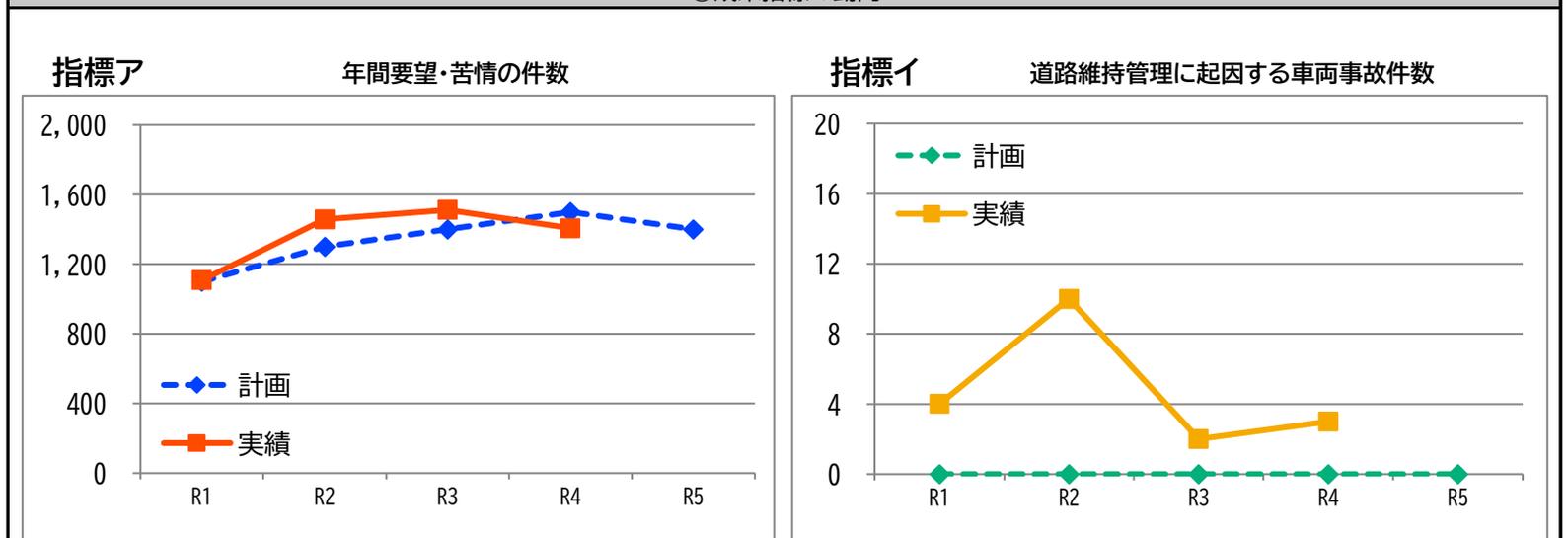
(1) 事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何を事務事業なのか)					
<p>●認定市道及び法定外公共物において、道路排水路清掃、街路樹の維持管理等、道路に関する委託事業と作業員を常備することにより道路補修等、住民の要望に速やかに対応する。                  【課員】道路排水路の日常的な管理業務                  【作業員】主に道路の整地、草刈り、側溝清掃                  【委託業務】市道植込(ツツジ、桜)保守、街路樹の維持管理、草刈り                  【作業員】常時8人</p>					
② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)	③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)				
<p>車社会の到来により、舗装道路における破損の進行が著しく、破損箇所が起因となる交通事故、2次災害防止の目的及び排水路維持管理のため</p>	<p>大型ダンプ等の通行により市道・農道の舗装の傷みが激しい。また、大雨による道路の冠水が発生している。                  住民から道路舗装の陥没及び穴の補修の要望がある。また、農業用排水路について、家庭雑排水を放流している関係上、地元の生産組合管理の排水路等に堆積土があり流れが悪く、大雨が降ると道路が冠水するケースが発生しており、住民から苦情がある。</p>				
④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)					
事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
道路の維持管理を行う	⇒ 利用者(市民)が適正に管理された道路を通行	⇒ 道路の安全性が向上し、利用者(市民)が安心して通行できる。	⇒ 市道の整備	⇒ 安全で快適な道路の整備	⇒ ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2) 活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績	② 活動指標	単位	R1	R2	R3	R4	R5	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績
【道路の維持管理を行う】 ・道路排水路等清掃委託の実施 ・道路維持管理(道路パトロール)	ア 道路の定期草刈り箇所数(委託実施)	箇所	25	20	22	20	20	
	イ 作業員による道路補修等	件	700	700	700	700	700	
			543	667	638	593		
③ 成果指標		方向性	単位	R1	R2	R3	R4	R5
ア 年間要望・苦情の件数	減らす	件	計画	1,100	1,300	1,400	1,500	1,400
			実績	1,108	1,458	1,512	1,407	
イ 道路維持管理に起因する車両事故件数	減らす	件	計画	0	0	0	0	0
			実績	4	10	2	3	

④ 成果指標の動向



(3)コストの状況

(単位:千円)

① 事務事業費	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算
1.賃金	13,965	15,853	17,115	17,453	22,267
2.需用費	11,968	9,222	8,846	13,453	15,903
3.委託料	13,999	15,343	19,012	18,893	23,659
4.工事請負費	0	0	0	14,610	20,746
5.原材料費	10,083	10,115	9,983	8,772	10,978
6.その他	7,334	3,645	9,785	10,519	5,072
合計	57,349	54,178	64,741	83,700	98,625
財源内訳					
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	13,700	16,500
その他	0	0	0	0	0
一般財源	57,349	54,178	64,741	70,000	82,125
一般財源の比率	100.0%	100.0%	100.0%	83.6%	83.3%

② 従事職員数

常時 8 人

最大 人 × 日 = 延べ 人

③ 各費目の詳細(R4決算)	
1.賃金	報酬、職員手当、費用弁償
2.需用費	光熱水費、修繕料、燃料費、消耗品費
3.委託料	道路排水路等清掃委託
4.工事請負費	河川等浚渫工事
5.原材料費	原材料費
6.その他	労災等保険料、役務費、機械借上料等
④ 特定財源の詳細(R4決算)	
国・県支出金	
地方債	河川等浚渫事業債、土木作業車整備事業債
その他	

⑤ R3→R4 増減理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・需用費：電気料の増加</li> <li>・工事請負費：河川等浚渫工事を実施</li> </ul>

(4)事務事業に関する評価

① 事務事業の進捗	判定	分析(好不調の要因や対策について)	
		概ね順調	定期的なパトロールや通報により、道路の不具合箇所や危険箇所を早期に把握・対応し、適正な維持管理に努めている。
② 成果指標の推移 (R3→R4)	指標ア	判定	分析(変動の要因や対策について)
			好調維持
	指標イ	判定	分析(変動の要因や対策について)
			好調維持
③ 今後の方向性 (①・②を踏まえた R5以降の方針)	判定	方針	判定・方針の詳細
	継続実施		引き続き定期的な道路パトロールなどにより、危険箇所等を早期に把握し、早期対策に取り組み、道路利用者が安全・安心して通行できる道路環境の維持管理を実施する。

事業コード・事務事業名	29200	道路維持補修事業	予算科目	会計	款	項	目	掲載計画等
			一般	8	2	2		
施策体系	基本施策	17	安全で快適な道路の整備	所管課	建設課			
	施策の展開	36	市道の整備	担当班	土木班			
	戦略事業名	172	市道の維持補修事業	開始年度	不詳			
				根拠法令	道路法、旭市法定外公共物管理条例			
								<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏共生ビジョン <input checked="" type="checkbox"/> 過疎地域持続的発展計画 <input type="checkbox"/> R4主要事業

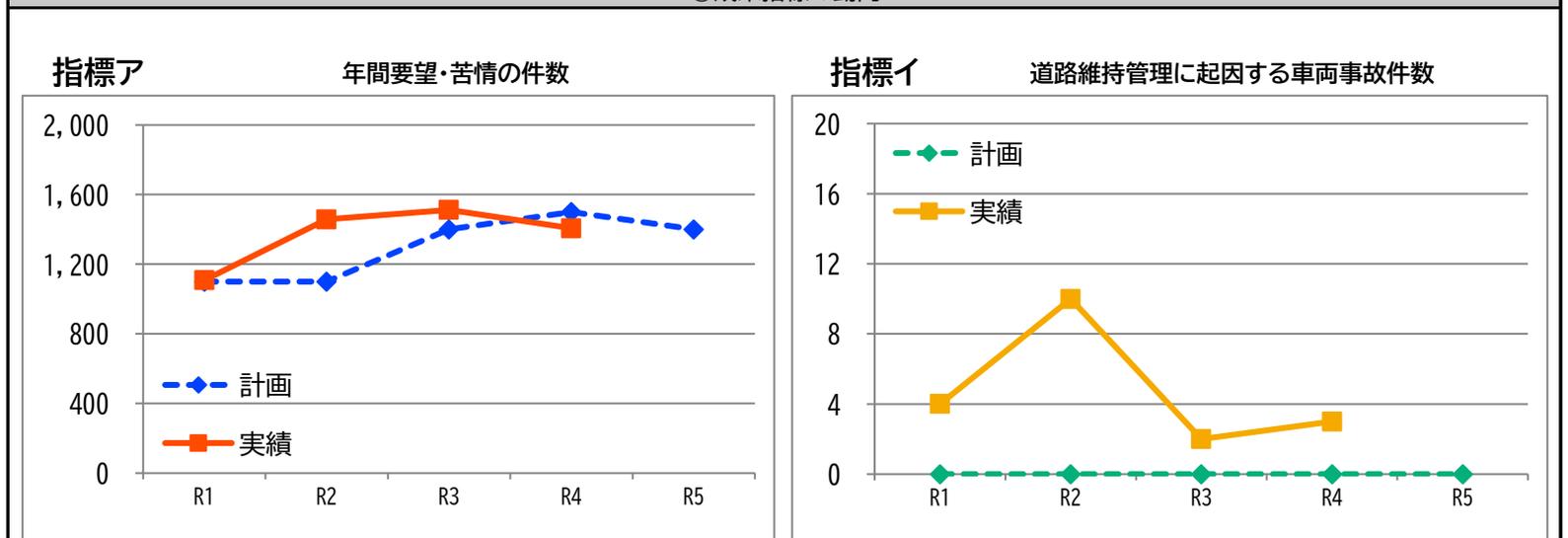
(1) 事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

<p>① 事務事業の内容(何をやる事務事業なのか)</p> <p>道路は毎日たくさんの車や歩行者が通ることにより、時間が経つにつれて傷んでしまうことから、良好な状態に保つ必要がある。道路表面にできた穴やひび割れを埋めたり、舗装を新しくしたりすることにより傷みや劣化を修理し、道路を安全かつ快適に使える状態に戻すことを目的としている。道路の破損状態を把握するため、定期的にパトロールを実施している。緊急性の高い補修工事は、迅速に対応できるよう年間で業務委託を行っている。</p>																	
<p>② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)</p> <p>交通量の増加とともに、道路舗装の破損を起因とする車両事故も増加したことから、車両事故防止を図るため事業を実施している。</p>			<p>③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)</p> <p>交通量の増加、とくに大型車両の増加により、既存の舗装構成では道路の強度が不足している路線があり、舗装のひび割れなどが多くの箇所で見られる。道路の破損によるタイヤのパンクや自転車の転倒事故は依然として発生していることから、パトロールの強化や早急な補修などの対応が求められている。</p>														
<p>④ 事務事業の目的と位置付け(何を狙っているのか)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業活動</th> <th>提供するモノやサービス</th> <th>成果</th> <th>施策の展開</th> <th>基本施策</th> <th>基本目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路維持補修工事の実施 道路パトロールの実施</td> <td>道路の利用者に安全かつ快適な道路環境を提供する</td> <td>道路への要望・苦情件数の減少 道路維持管理に起因する車両事故件数の減少</td> <td>市道の整備</td> <td>安全で快適な道路の整備</td> <td>ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり</td> </tr> </tbody> </table>						事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標	道路維持補修工事の実施 道路パトロールの実施	道路の利用者に安全かつ快適な道路環境を提供する	道路への要望・苦情件数の減少 道路維持管理に起因する車両事故件数の減少	市道の整備	安全で快適な道路の整備	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり
事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標												
道路維持補修工事の実施 道路パトロールの実施	道路の利用者に安全かつ快適な道路環境を提供する	道路への要望・苦情件数の減少 道路維持管理に起因する車両事故件数の減少	市道の整備	安全で快適な道路の整備	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり												

(2) 活動と成果の状況

<p>① R4の主な活動や実績</p> <p>道路維持補修工事の実施 道路維持補修工事 62件(329,657千円) 維持補修工事(年間委託) 72件(21,471千円)</p> <p>道路パトロールの実施 定期パトロール(1回/週)の実施</p>	<p>② 活動指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ア 維持補修延長(年間委託実施分を除く)</td> <td rowspan="2">m</td> <td>計画</td> <td>3,570</td> <td>3,500</td> <td>4,130</td> <td>5,100</td> <td>5,400</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>3,466</td> <td>2,849</td> <td>4,570</td> <td>6,856</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">イ 年間委託による維持補修件数</td> <td rowspan="2">件</td> <td>計画</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>64</td> <td>70</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>53</td> <td>76</td> <td>66</td> <td>72</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						単位	R1	R2	R3	R4	R5	ア 維持補修延長(年間委託実施分を除く)	m	計画	3,570	3,500	4,130	5,100	5,400	実績	3,466	2,849	4,570	6,856		イ 年間委託による維持補修件数	件	計画	60	60	64	70	70	実績	53	76	66	72					
		単位	R1	R2	R3	R4	R5																																					
	ア 維持補修延長(年間委託実施分を除く)	m	計画	3,570	3,500	4,130	5,100	5,400																																				
			実績	3,466	2,849	4,570	6,856																																					
イ 年間委託による維持補修件数	件	計画	60	60	64	70	70																																					
		実績	53	76	66	72																																						
<p>③ 成果指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>方向性</th> <th>単位</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ア 年間要望・苦情の件数</td> <td rowspan="2">↓ 減らす</td> <td rowspan="2">件</td> <td>計画</td> <td>1,100</td> <td>1,100</td> <td>1,400</td> <td>1,500</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,108</td> <td>1,458</td> <td>1,512</td> <td>1,407</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">イ 道路維持管理に起因する車両事故件数</td> <td rowspan="2">↓ 減らす</td> <td rowspan="2">件</td> <td>計画</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								方向性	単位	R1	R2	R3	R4	R5	ア 年間要望・苦情の件数	↓ 減らす	件	計画	1,100	1,100	1,400	1,500	1,400	実績	1,108	1,458	1,512	1,407		イ 道路維持管理に起因する車両事故件数	↓ 減らす	件	計画	0	0	0	0	0	実績	4	10	2	3	
	方向性	単位	R1	R2	R3	R4	R5																																					
ア 年間要望・苦情の件数	↓ 減らす	件	計画	1,100	1,100	1,400	1,500	1,400																																				
			実績	1,108	1,458	1,512	1,407																																					
イ 道路維持管理に起因する車両事故件数	↓ 減らす	件	計画	0	0	0	0	0																																				
			実績	4	10	2	3																																					

④ 成果指標の動向



(3)コストの状況

(単位:千円)

① 事務事業費	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算
1. 道路補修委託料	15,571	17,006	19,028	21,471	20,207
2. 調査・測量委託料	1,419	0	0		
3. 道路舗装改修工事	191,823	161,666	307,443	329,657	334,927
4. 負担金補助及び負担金	0	0	0		
5. その他	0	0	0		
合計	208,813	178,672	326,471	351,128	355,134
財源内訳					
国・県支出金	0	0	0		
地方債	84,900	46,300	215,700	271,500	297,500
その他	4,384	0	0		
一般財源	119,529	132,372	110,771	79,628	57,634
一般財源の比率	57.2%	74.1%	33.9%	22.7%	16.2%

② 従事職員数

常時 12 人

最大 人 × 日 = 延べ 人

③ 各費目の詳細(R4決算)

1.道路補修委託料	72件
2.調査・測量委託料	
3.道路舗装改修工事	62件
4.負担金補助及び負担金	
5.その他	

④ 特定財源の詳細(R4決算)

国・県支出金	
地方債	道路維持補修事業債
その他	

⑤ R3→R4 増減理由

委託料では、予算額が増額となり、例年より多くの現場の補修等に対応することができた。工事費では有利な財源の活用により、例年より長い延長で維持補修を実施できた。

(4)事務事業に関する評価

① 事務事業の進捗	判定	分析(好不調の要因や対策について)	
		概ね順調	維持補修延長、年間委託による維持補修件数ともに、前年度を上回る実績となり、多くの現場の道路環境を良好な状態にすることができた。年間の要望・苦情件数は未だに多く寄せられている状況であり、引き続き道路環境の改善が必要となっている。
② 成果指標の推移(R3→R4)	指標ア	判定	分析(変動の要因や対策について)
			好調維持
	指標イ	判定	分析(変動の要因や対策について)
			好調維持
③ 今後の方向性(①・②を踏まえたR5以降の方針)	判定	方針	判定・方針の詳細
	継続実施		今後も道路環境を健全な状態に保ち、安全で快適な道路を提供するため、維持補修を継続して実施していく。成果指標のさらなる減少を実現するため、日常パトロールを行い苦情や事故につながる前の道路メンテナンスに努めていく。

事業コード・事務事業名	29300	交通安全施設維持補修事業	予算科目	会計	款	項	目	掲載計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略
			所管課	一般	8	2	2		<input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画
施策体系	基本施策	28	防犯対策・交通安全の強化	担当班	建設課			土木班	<input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画
	施策の展開	61	交通安全環境の整備	開始年度	不詳				<input type="checkbox"/> 定住自立圏共生ビジョン
	戦略事業名	254	交通安全施設維持補修事業	根拠法令	道路法				<input type="checkbox"/> 過疎地域持続的発展計画
								<input type="checkbox"/> R4主要事業	

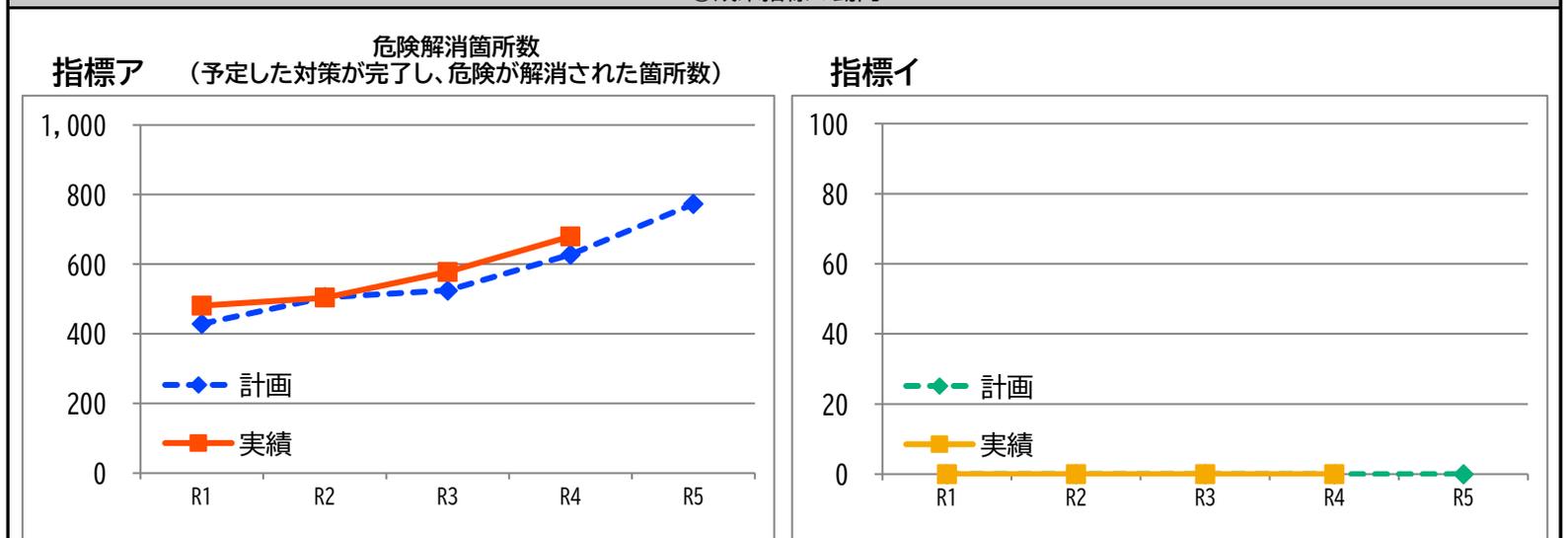
(1) 事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

<p>① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)</p> <p>・交通安全の観点から必要な箇所に標識・照明灯・区画線等の交通安全施設の新設を行う。また、以前設置された交通安全施設の維持補修・更新を行う。                  ・交通安全施設・・・防護柵(ガードレール)、照明灯、標識(案内標識、警戒標識)、区画線、路面表示、カーブミラー等                  ・歩道設置や交差点改良は別事業で実施し、近年では、危険箇所へのカラー舗装等の注意喚起、耐用年数を迎えた防護柵、カーブミラーの更新、また通学路合同点検を行った箇所への対応が中心になっている。</p>																	
<p>② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)</p> <p>交通事故の減少を目的として事業が開始された。</p>			<p>③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)</p> <p>自動車の増加や、市道の総延長の増大により、交通安全施設の対策必要箇所は増えている。また、以前整備された交通安全施設は老朽化が進んでいる。市民から、道路における交通安全施設の設置要望や不具合の情報等が多数寄せられている。また、近年相次いだ通学中の児童の交通事故を受けて通学路の安全対策が求められている。</p>														
<p>④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業活動</th> <th>提供するモノやサービス</th> <th>成果</th> <th>施策の展開</th> <th>基本施策</th> <th>基本目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市道の危険箇所への安全対策の実施 ②通学路点検で上げられた要望への対策の検討・実施</td> <td>⇒ 危険箇所への交通安全施設等の新設・更新</td> <td>⇒ 市道利用者(市民)の安全性の向上</td> <td>⇒ 交通安全環境の整備</td> <td>⇒ 防犯対策・交通安全の強化</td> <td>⇒ 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり</td> </tr> </tbody> </table>						事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標	①市道の危険箇所への安全対策の実施 ②通学路点検で上げられた要望への対策の検討・実施	⇒ 危険箇所への交通安全施設等の新設・更新	⇒ 市道利用者(市民)の安全性の向上	⇒ 交通安全環境の整備	⇒ 防犯対策・交通安全の強化	⇒ 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり
事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標												
①市道の危険箇所への安全対策の実施 ②通学路点検で上げられた要望への対策の検討・実施	⇒ 危険箇所への交通安全施設等の新設・更新	⇒ 市道利用者(市民)の安全性の向上	⇒ 交通安全環境の整備	⇒ 防犯対策・交通安全の強化	⇒ 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり												

(2) 活動と成果の状況

<p>① R4の主な活動や実績</p> <p>交通安全施設の新設・更新 通学路の危険箇所への対策</p>	<p>② 活動指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単位</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 防護柵新設・更新延長</td> <td>300</td> <td>380</td> <td>200</td> <td>350</td> <td>415</td> </tr> <tr> <td>イ カーブミラー新設・更新箇所数</td> <td>26</td> <td>29</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>84</td> <td>627</td> <td>327</td> <td>550</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>23</td> <td>21</td> <td>29</td> <td>24</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					単位	R1	R2	R3	R4	R5	ア 防護柵新設・更新延長	300	380	200	350	415	イ カーブミラー新設・更新箇所数	26	29	25	25	25		84	627	327	550			23	21	29	24					
	単位	R1	R2	R3	R4	R5																																	
	ア 防護柵新設・更新延長	300	380	200	350	415																																	
イ カーブミラー新設・更新箇所数	26	29	25	25	25																																		
	84	627	327	550																																			
	23	21	29	24																																			
<p>③ 成果指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>方向性</th> <th>単位</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>↑ 増やす</td> <td>箇所</td> <td>429</td> <td>505</td> <td>525</td> <td>628</td> <td>773</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>481</td> <td>504</td> <td>578</td> <td>680</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					方向性	単位	R1	R2	R3	R4	R5	↑ 増やす	箇所	429	505	525	628	773			481	504	578	680															
方向性	単位	R1	R2	R3	R4	R5																																	
↑ 増やす	箇所	429	505	525	628	773																																	
		481	504	578	680																																		

④ 成果指標の動向





事業コード・事務事業名	29400	急傾斜地崩壊対策事業	予算科目	会計	款	項	目	掲載計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略
			所管課	一般	8	2	2		<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画
施策体系	基本施策	17	安全で快適な道路の整備	担当班	建設課				<input type="checkbox"/> 新市建設計画
	施策の展開	36	市道の整備	開始年度	令和元年度				<input type="checkbox"/> 定住自立圏共生ビジョン
	戦略事業名	174	急傾斜地崩壊対策事業	根拠法令	急傾斜の崩壊による災害の防止に関する法律				<input type="checkbox"/> 過疎地域持続的発展計画
								<input type="checkbox"/> R4主要事業	

(1) 事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)	
急傾斜地やこれらに隣接する土地のうち斜面の崩壊により住民の生命に危害のおそれのある区域の保全を図る。本事業については実施主体は県となるが、特定要件により市が行うことがある。	
② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)	③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)
急傾斜地崩壊危険区域に指定されていない区域の斜面の崩壊による被害を防ぐため。	地震や大雨等による土砂災害が全国的に増加し、問題となっている。台風や大雨による土砂崩れが市内でも発生しており、地域住民から不安の声が上がっている。

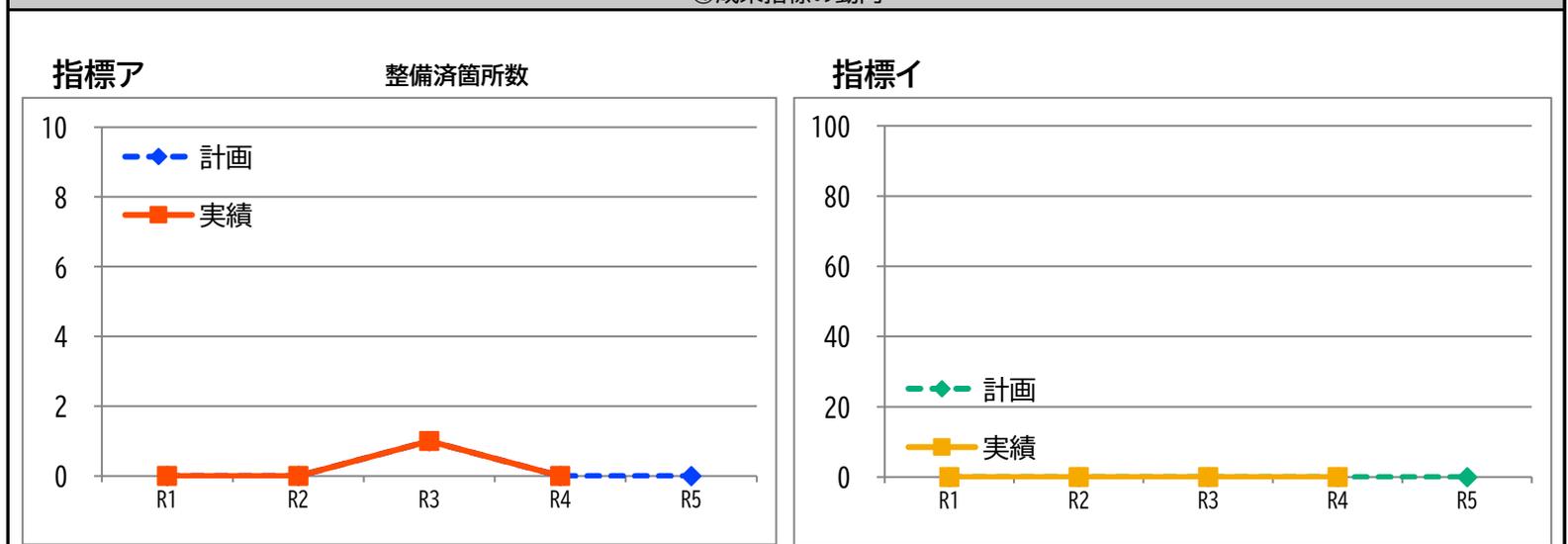
④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
①千葉県施行による急傾斜地崩壊対策事業に伴う負担金 ②法面対策のための設計・工事の実施	⇒ 急傾斜地の法面対策	⇒ 急傾斜地の崩壊から人命の保全	⇒ 市道の整備	⇒ 安全で快適な道路の整備	⇒ ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2) 活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績 見広2地区急傾斜地崩壊対策事業(千葉県施行に伴う負担金)	② 活動指標		単位	R1	R2	R3	R4	R5		
	ア	測量設計業務委託の実施	件	計画	-	-	0	0	0	
	イ	法面復旧工事の実施	件	実績	-	3	0	0	0	
	③ 成果指標		方向性	単位	R1	R2	R3	R4	R5	
	ア	整備済箇所数	↑ 増やす	箇所	計画	-	-	1	0	0
					実績	-	0	1	0	
	イ				計画					
					実績					

④ 成果指標の動向



(3)コストの状況

(単位:千円)

① 事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算
費目内訳	1. 調査・設計委託料	0	25,882	0	0	
	2. 法面復旧工事	0	0	8,573	0	
	3. 土地等借上料	0	0	0	0	
	4. 負担金	0	0	1,654	1,518	12,000
	合計	0	25,882	10,228	1,518	12,000
財源内訳	国・県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	10,228	1,500	12,000
	その他	0	0	0		
	一般財源	0	25,882	0	18	0
	一般財源の比率		100.0%	0.0%	1.2%	0.0%

② 従事職員数

常時 1 人

最大 人 × 日 = 延べ 人

③ 各費目の詳細(R4決算)

1.調査・設計委託料	
2.法面復旧工事	
3.土地等借上料	
4.負担金	千葉県緊急急傾斜地崩壊対策事業負担金

④ 特定財源の詳細(R4決算)

国・県支出金	
地方債	緊急自然災害防止対策事業債
その他	

⑤ R3→R4 増減理由

事業の一部を道路補修事業で実施しているため

(4)事務事業に関する評価

① 事務事業の進捗	判定	分析(好不調の要因や対策について)	
	 概ね順調	千葉県施行による急傾斜地崩壊対策事業は順調に進捗しているため。	
② 成果指標の推移 (R3→R4)	指標ア	判定	分析(変動の要因や対策について)
		 好調維持	整備予定箇所がないため
	指標イ	判定	分析(変動の要因や対策について)
③ 今後の方向性 (①・②を踏まえた R5以降の方針)	判定	方針	判定・方針の詳細
	継続実施		千葉県施行による急傾斜地崩壊対策事業は順調に進捗しているため。

事業コード・事務事業名	29600	道路新設改良事業	予算科目	会計	款	項	目	掲載計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略
			所管課	一般	8	2	3		<input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画
施策体系	基本施策	17	安全で快適な道路の整備	担当班	建設課			土木班	<input type="checkbox"/> 新市建設計画
	施策の展開	36	市道の整備	開始年度	不詳				<input type="checkbox"/> 定住自立圏共生ビジョン
	戦略事業名	171	道路新設改良事業	根拠法令	道路法				<input type="checkbox"/> 過疎地域持続的発展計画
								<input checked="" type="checkbox"/> R4主要事業	

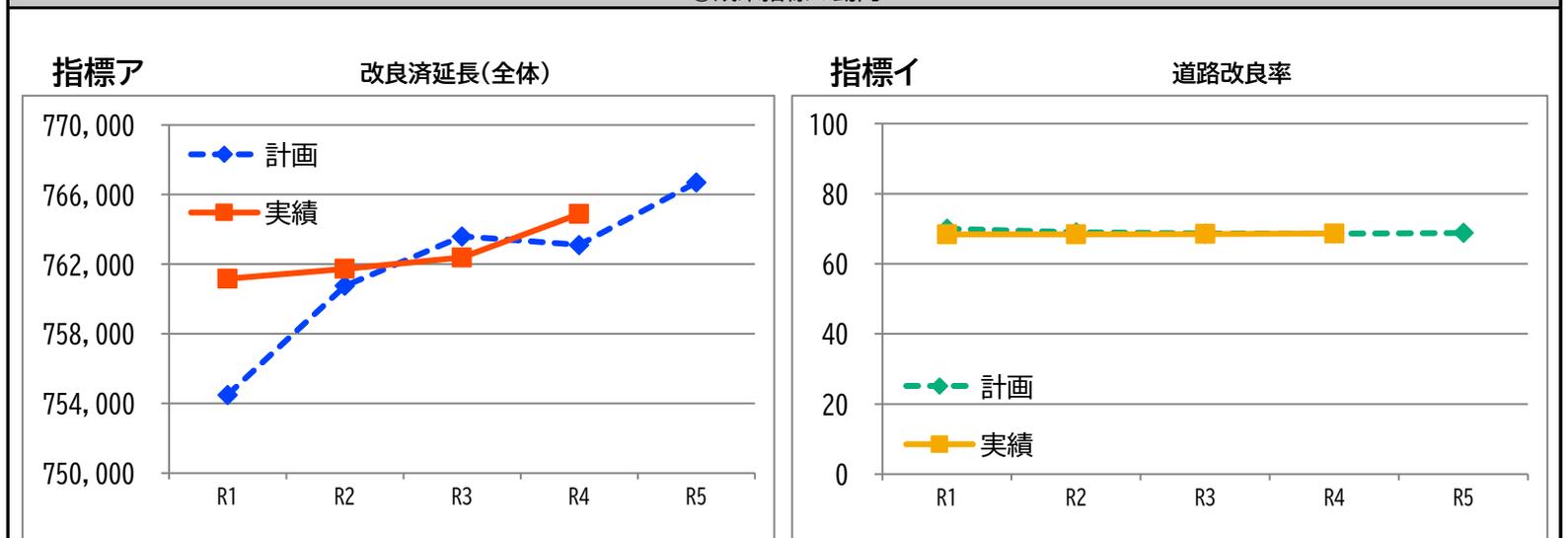
(1) 事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

<p>① 事務事業の内容(何をやる事務事業なのか)</p> <p>道路新設改良事業は、道路の新設や既存道路を拡幅整備することにより、交通の円滑化、安全性の向上、地域経済の活性化を目的としている。また、道路冠水被害の軽減を図るため、排水不良箇所に排水施設を整備する。</p>																	
<p>② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)</p> <p>車社会の到来により、狭小な昔ながらの道路では歩行者などの安全な通行や緊急時の通行に支障が生じる。生活の根幹となる道路の拡幅整備により都市基盤整備の推進となる。</p>			<p>③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)</p> <p>道路改良率は、ゆるやかに上昇しているが十分なものとはいえない。また、用地取得の難しさや工事に多額の費用が必要であり、計画から事業完了までに時間を要することから、市民の要望に十分対応できていない。一方で、人口減少社会においては、これまでに建設した道路の維持管理費の負担感が大きくなってきており、整備すべき路線の取捨選択をしていかなければならない。</p>														
<p>④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業活動</th> <th>提供するモノやサービス</th> <th>成果</th> <th>施策の展開</th> <th>基本施策</th> <th>基本目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路改良工事の実施 道路排水整備工事の実施</td> <td>道路の利用者に安全かつ快適な道路サービスを提供する</td> <td>道路改良済延長の増加 道路改良率の増加</td> <td>市道の整備</td> <td>安全で快適な道路の整備</td> <td>ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり</td> </tr> </tbody> </table>						事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標	道路改良工事の実施 道路排水整備工事の実施	道路の利用者に安全かつ快適な道路サービスを提供する	道路改良済延長の増加 道路改良率の増加	市道の整備	安全で快適な道路の整備	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり
事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標												
道路改良工事の実施 道路排水整備工事の実施	道路の利用者に安全かつ快適な道路サービスを提供する	道路改良済延長の増加 道路改良率の増加	市道の整備	安全で快適な道路の整備	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり												

(2) 活動と成果の状況

<p>① R4の主な活動や実績</p> <p>道路改良工事の実施 道路改良工事 12件(79,179千円)</p> <p>道路排水整備工事の実施 道路排水整備工事 22件(172,566千円)</p>	<p>② 活動指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ア 整備延長(単年度)</td> <td rowspan="2">m</td> <td>計画</td> <td>2,700</td> <td>2,999</td> <td>2,203</td> <td>2,635</td> <td>1,813</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2,188</td> <td>1,798</td> <td>2,215</td> <td>1,986</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">イ 整備対象路線数</td> <td rowspan="2">路線</td> <td>計画</td> <td>24</td> <td>27</td> <td>24</td> <td>30</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>37</td> <td>27</td> <td>32</td> <td>34</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						単位	R1	R2	R3	R4	R5	ア 整備延長(単年度)	m	計画	2,700	2,999	2,203	2,635	1,813	実績	2,188	1,798	2,215	1,986		イ 整備対象路線数	路線	計画	24	27	24	30	16	実績	37	27	32	34			
		単位	R1	R2	R3	R4	R5																																			
	ア 整備延長(単年度)	m	計画	2,700	2,999	2,203	2,635	1,813																																		
			実績	2,188	1,798	2,215	1,986																																			
イ 整備対象路線数	路線	計画	24	27	24	30	16																																			
		実績	37	27	32	34																																				
<p>③ 成果指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>方向性</th> <th>単位</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ア 改良済延長(全体)</td> <td rowspan="2">↑ 増やす</td> <td rowspan="2">m</td> <td>計画</td> <td>754,500</td> <td>760,760</td> <td>763,600</td> <td>763,115</td> <td>766,698</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>761,166</td> <td>761,737</td> <td>762,390</td> <td>764,885</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">イ 道路改良率</td> <td rowspan="2">↑ 増やす</td> <td rowspan="2">%</td> <td>計画</td> <td>70.0</td> <td>69.0</td> <td>68.7</td> <td>68.6</td> <td>68.8</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>68.4</td> <td>68.4</td> <td>68.5</td> <td>68.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						方向性	単位	R1	R2	R3	R4	R5	ア 改良済延長(全体)	↑ 増やす	m	計画	754,500	760,760	763,600	763,115	766,698	実績	761,166	761,737	762,390	764,885		イ 道路改良率	↑ 増やす	%	計画	70.0	69.0	68.7	68.6	68.8	実績	68.4	68.4	68.5	68.7	
	方向性	単位	R1	R2	R3	R4	R5																																			
ア 改良済延長(全体)	↑ 増やす	m	計画	754,500	760,760	763,600	763,115	766,698																																		
			実績	761,166	761,737	762,390	764,885																																			
イ 道路改良率	↑ 増やす	%	計画	70.0	69.0	68.7	68.6	68.8																																		
			実績	68.4	68.4	68.5	68.7																																			

④ 成果指標の動向



(3)コストの状況

(単位:千円)

① 事務事業費	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算
1. 道路改良工事	6,920	38,200	45,385	79,178	78,900
2. 道路排水工事	84,436	59,938	122,898	172,565	103,214
3. 道路舗装工事	16,213	9,146	5,444	0	0
4. 道路用地購入費	2,780	9,131	2,085	1,147	18,487
5. その他	14,066	24,279	7,119	9,538	72,806
合計	124,415	140,694	182,931	262,428	273,407
財源内訳					
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	2,600	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	124,415	140,694	182,931	259,828	273,407
一般財源の比率	100.0%	100.0%	100.0%	99.0%	100.0%

② 従事職員数

常時 13 人

最大 人 × 日 = 延べ 人

③ 各費目の詳細(R4決算)

1.道路改良工事	12件
2.道路排水工事	22件
3.道路舗装工事	-
4.道路用地購入費	5件
5.その他	業務委託 7件 土地借上 2件 物件補償 3件

④ 特定財源の詳細(R4決算)

国・県支出金	
地方債	道路新設改良事業債
その他	

⑤ R3→R4 増減理由

道路改良工事 微増  
道路排水整備工事 微減  
道路舗装工事 微減

(4)事務事業に関する評価

① 事務事業の進捗	判定	分析(好不調の要因や対策について)	
		令和4年度は予定していた道路改良工事及び道路排水整備工事が概ね完成した。	
② 成果指標の推移 (R3→R4)	指標ア	判定	分析(変動の要因や対策について)
			令和4年度は予定していた道路改良工事及び道路排水整備工事が概ね完成し、改良済延長が向上した。
	指標イ	判定	分析(変動の要因や対策について)
			令和4年度は予定していた道路改良工事及び道路排水整備工事が概ね完成し、道路改良率が向上した。
③ 今後の方向性 (①・②を踏まえた R5以降の方針)	判定	方針	判定・方針の詳細
	継続実施		交通の円滑化、安全性の向上及び地域経済の活性化の観点から整備すべき路線を抽出する。

事業コード・事務事業名	29700	冠水対策排水整備事業	予算科目	会計	款	項	目	掲載計画等
			一般	8	2	3		
施策体系	基本施策	20	居住環境の充実	所管課	建設課			<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏共生ビジョン <input type="checkbox"/> 過疎地域持続的発展計画 <input checked="" type="checkbox"/> R4主要事業
	施策の展開	40	住み良い住環境の確保	担当班	土木班			
	戦略事業名	188	広域排水計画の策定	開始年度	平成25年度			
			根拠法令	特になし				

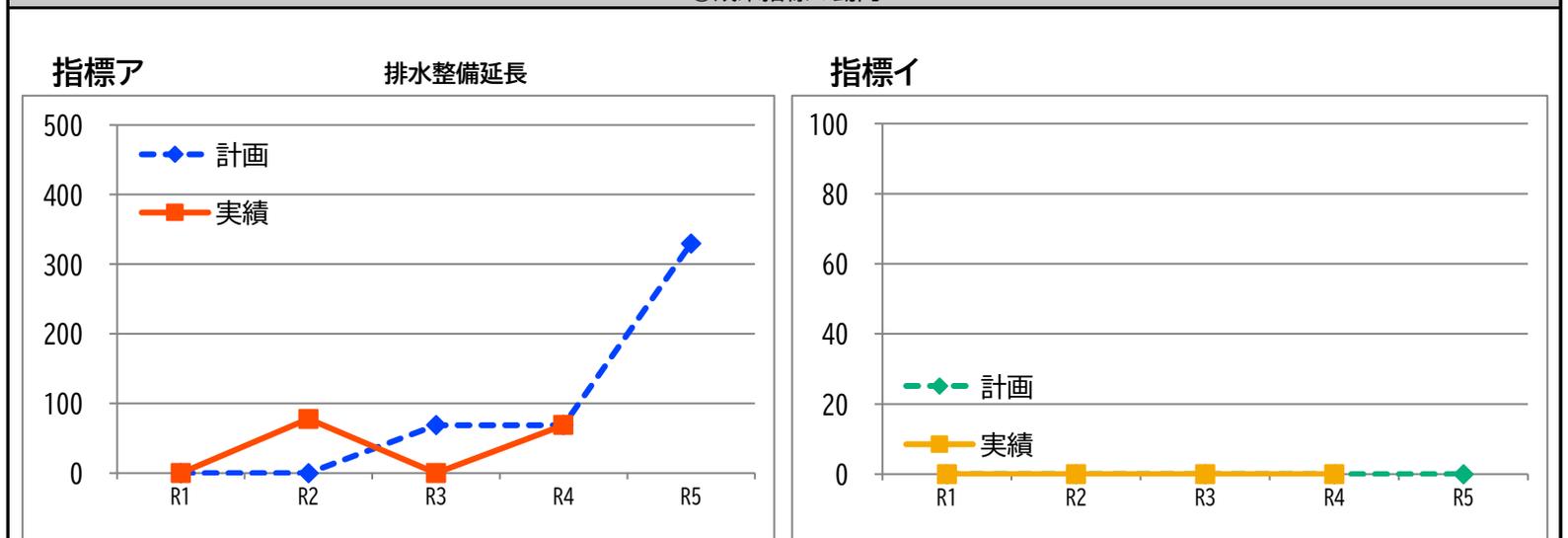
(1) 事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をやる事務事業なのか)					
市域全域について、排水計画を策定する。 ・流域・流末調査 ・排水整備事業に反映する					
② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)			③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)		
合併により、旧市町区域を横断的に計画策定できる状況になったことから、より効率的な整備を行うため、市域全域を対象とした排水計画を策定する。			道路冠水対策は、局所的な排水整備では解決が困難であり、広域的な排水系統に基づいた計画整備が必要となっているが、近年における局地的な集中豪雨などで、特に冠水被害が生じている地域の調査設計を行い、先行して対策を進めている。 対策を進めている地域のほかにも冠水被害が生じている地域があり、解消が望まれている。		
④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)					
事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
用地買収 排水路整備工事	⇒ 二・八地区、後草地区における排水路の供用	⇒ 冠水被害の解消	⇒ 住み良い住環境の確保	⇒ 居住環境の充実	⇒ ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2) 活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績 二・八地区、後草地区では排水路詳細設計業務を行い、冠水対策における手法を検討した。 イ地区では、令和3年度排水整備工事にかかる繰越工事を実施し、令和5年度工事箇所における道路占用管の移設を行い、工事準備を進めた。	② 活動指標		単位	R1	R2	R3	R4	R5	
	ア	排水計画策定	地区	計画	-	2	0	2	0
				実績	-	2	0	2	
	イ			計画					
			実績						
③ 成果指標		方向性	単位	R1	R2	R3	R4	R5	
ア	排水整備延長	↑ 増やす	m	計画	-	-	69.0	69.0	330.0
				実績	-	77.9	0.0	69.0	
イ				計画					
				実績					

④ 成果指標の動向



(3)コストの状況

(単位:千円)

① 事務事業費	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算
1. 委託料	-	30,392	6,813	21,657	9,900
2. 補償補填及び賠償金	-	3,092	10,834	795	7,430
3. 地域排水工事	-	55,342	25,160	106,140	338,800
4. その他	-	144	0	7,499	75,486
合計	0	88,970	42,807	136,090	431,616
財源内訳					
国・県支出金	-	0	0		
地方債	-	55,400	33,100	129,200	411,800
その他	-	0	0		
一般財源	0	33,570	9,707	6,890	19,816
一般財源の比率		37.7%	22.7%	5.1%	4.6%

② 従事職員数

常時 3 人

最大 人 × 日 = 延べ 人

③ 各費目の詳細(R4決算)

1. 委託料	排水路詳細設計業務 2件 家屋事後調査業務 1件
2. 補償補填及び賠償金	排水整備工事に伴う物件補償
3. 地域排水工事	イ地区排水整備工事
4. その他	

④ 特定財源の詳細(R4決算)

国・県支出金	
地方債	冠水対策排水整備事業債
その他	

⑤ R3→R4 増減理由

ニ・ハ地区、後草地区は、排水路詳細設計業務を実施したことにより、委託費が増加した。工事費に関し、イ地区では支障となる占用管の移設工事を行い、排水工事の予定は無かったことから減額となった。

(4)事務事業に関する評価

① 事務事業の進捗	判定	分析(好不調の要因や対策について)	
	 順調	ニ・ハ地区、後草地区は、排水路詳細設計が完了し、令和5年度より工事に着手する。イ地区は、令和3年度繰越工事が予定どおり完了した。また、令和5年度工事の事前準備とし、関係機関へ道路占用管の移設工事依頼し、次年度以降の事業進捗に向けて準備を行った。	
② 成果指標の推移(R3→R4)	指標ア	判定	分析(変動の要因や対策について)
	 向上		イ地区は、令和3年度繰越工事が予定どおり完了した。
③ 今後の方向性(①・②を踏まえたR5以降の方針)	指標イ	判定	分析(変動の要因や対策について)
	判定	方針	判定・方針の詳細
	継続実施		ニ・ハ地区、後草地区、イ地区で排水整備を行い、冠水被害を抑える。人家や商業施設が密集する地区のため、令和5年度以降も慎重な工事となる。関係機関協議及び地元調整を入念に行い、ライフラインを損傷させるような事故・大規模な遅れが生じないようリスクマネジメントに心掛ける。また、広域排水計画の策定や対策着手地区の事業進捗のため、一般河川への交付金事業や有利な地方債措置の拡充など、より柔軟に活用できる財政支援を講じるよう継続的に要望していく。

事業コード・事務事業名	30000	飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業	予算科目	会計	款	項	目	掲載計画等
				一般	8	2	3	
施策体系	基本施策	17	安全で快適な道路の整備	担当班	建設課			<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input checked="" type="checkbox"/> 定住自立圏共生ビジョン <input type="checkbox"/> 過疎地域持続的発展計画 <input checked="" type="checkbox"/> R4主要事業
	施策の展開	34	主要道路の整備	開始年度	平成21年度			
	戦略事業名	158	飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業	根拠法令	道路法			

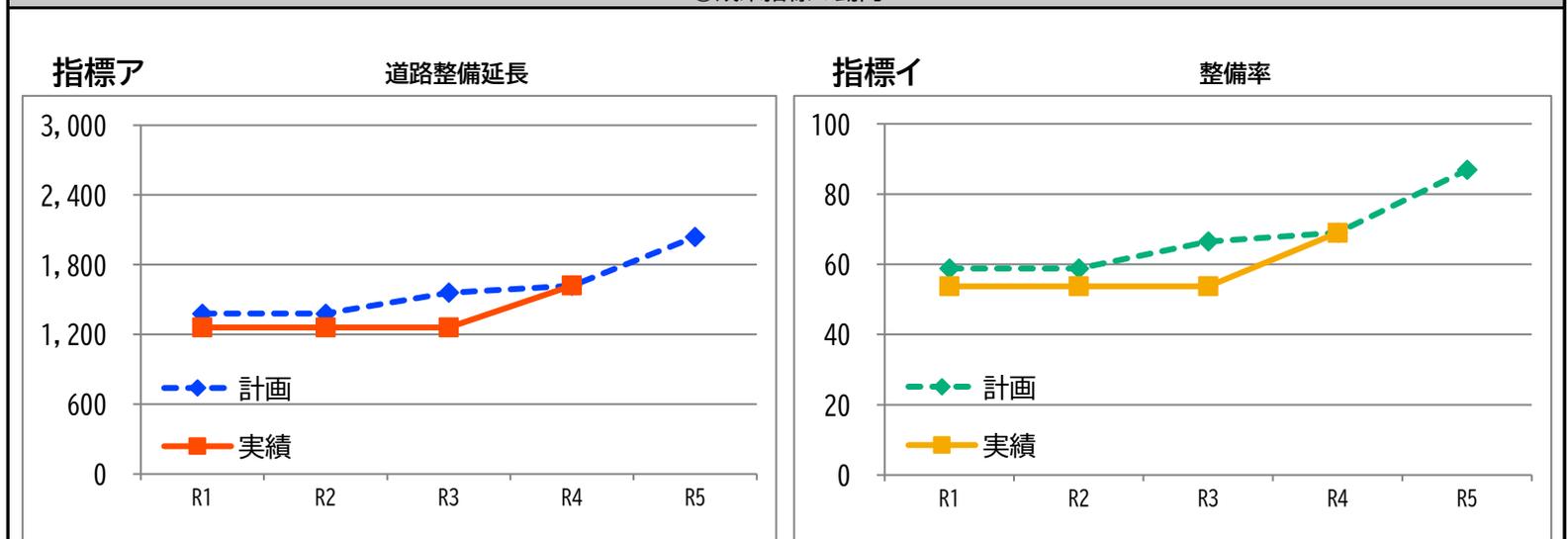
(1) 事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか) 交流基盤を強化するため、飯岡三川地区と海上蛇園地区を連絡する新設道路を整備する事業である。整備後は、東総広域農道から国道126号までを直結できるため、広域的な道路網が形成され地域間交流の活性化が期待できる。また、現在の地区内道に代わる道路となるため、地区内の通り抜け車両と軽減できるほか、沿岸部で整備中の津波避難道路を補填し、地区住民の避難道路としても、防災力の向上が期待できる。					
② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか) 1市3町合併時に策定した新市建設計画の主要施策として事業化したものである。			③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか) 事業費が一般的な道路整備に比べ大きいため、その財源確保が課題となっていたが、国土強靱化地域計画に基づく事業であり、国費の重点配分の対象事業となったことから、財源確保について改善している。道路整備は事業費が大きいことから、事業の効果・必要性が問われている。		
④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)					
事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
用地買収 道路改良工事	⇒ 飯岡海上連絡道三川蛇園線の開通	⇒ 道路整備により地域間が結ばれる。また地区内道路に代わる道路であり、地区内道路の通り抜けの防止し、地区住民の交通環境が向上する。避難道路として地域の防災力が向上する。	⇒ 主要道路の整備	⇒ 安全で快適な道路の整備	⇒ ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2) 活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績 道路改良工事 鉄道横断工事委託 JR総武本線との交差部の横断工事をJR東日本千葉支社に委託 道路改良工事 L=420m 信号機移設工事 N=1箇所	② 活動指標					単位	R1	R2	R3	R4	R5
	ア	整備延長(単年度)	m	計画	260	0	300	360	420		
				実績	140	0	0	360			
	イ			計画							
実績											
③ 成果指標		方向性	単位	R1	R2	R3	R4	R5			
ア	道路整備延長	↑ 増やす	m	計画	1,380	1,380	1,560	1,620	2,040		
				実績	1,260	1,260	1,260	1,620			
イ	整備率	↑ 増やす	%	計画	58.8	58.8	66.5	69.0	86.9		
				実績	53.7	53.7	53.7	69.0			

④ 成果指標の動向



(3)コストの状況

(単位:千円)

① 事務事業費	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算
1. 委託料	648	320,000	532,463	419,128	648,733
2. 工事請負費	12,759	44,310	31,530	83,422	288,200
3. 用地費	4,685	0	1,968	0	36,812
4. 補償費	0	0	0	627	2,921
5. その他	190	3,493	3,493	3,493	3,494
合計	18,282	367,803	569,454	506,670	980,160
財源内訳					
国・県支出金	3,405	111,595	183,599	228,049	433,678
地方債	13,900	240,000	363,200	265,600	483,300
その他	0	0	0		
一般財源	977	16,208	22,655	13,021	63,182
一般財源の比率	5.3%	4.4%	4.0%	2.6%	6.4%

② 従事職員数

常時 2 人

最大 人 × 日 = 延べ 人

③ 各費目の詳細(R4決算)

1. 委託料	鉄道横断工事委託料
2. 工事請負費	道路改良工事(明許) 2件 信号機移設工事(明許) 1件
3. 用地費	
4. 補償費	電柱移設 1件
5. その他	土地等借上料 6件

④ 特定財源の詳細(R4決算)

国・県支出金	社会資本整備総合交付金
地方債	飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業債
その他	

⑤ R3→R4 増減理由

鉄道横断工事委託料は工事量に応じて年度毎にJRと協定を結び工事を行っている。R4年度は工事内容により委託料が少額となった。  
工事請負費はR3繰越事業が完成となった。工事費精算により工事費用が増額となっている。  
補償費は、道路改良工事に伴い支障となった電柱を移設したものの

(4)事務事業に関する評価

① 事務事業の進捗	判定	分析(好不調の要因や対策について)	
	 順調	令和4年度は予定していた道路改良工事が完成した。	
② 成果指標の推移(R3→R4)	指標ア	判定	分析(変動の要因や対策について)
		 向上	令和4年度は予定していた道路改良工事が完成し、整備延長が向上した。
	指標イ	判定	分析(変動の要因や対策について)
		 向上	令和4年度は予定していた道路改良工事が完成し、整備率が向上した。
③ 今後の方向性(①・②を踏まえたR5以降の方針)	判定	方針	判定・方針の詳細
	継続実施		令和6年度の完成に向けて、未整備区間の工事、未取得用地の買収を行う。

事業コード・事務事業名	30100	南堀之内バイパス整備事業	予算科目	会計	款	項	目	掲載計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略
			所管課	一般	8	2	3		<input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画
施策体系	基本施策	17	安全で快適な道路の整備	担当班	建設課				<input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画
	施策の展開	34	主要道路の整備	開始年度	平成19年度				<input checked="" type="checkbox"/> 定住自立圏共生ビジョン
	戦略事業名	159	南堀之内バイパス整備事業	根拠法令	道路法				<input checked="" type="checkbox"/> 過疎地域持続的発展計画
								<input checked="" type="checkbox"/> R4主要事業	

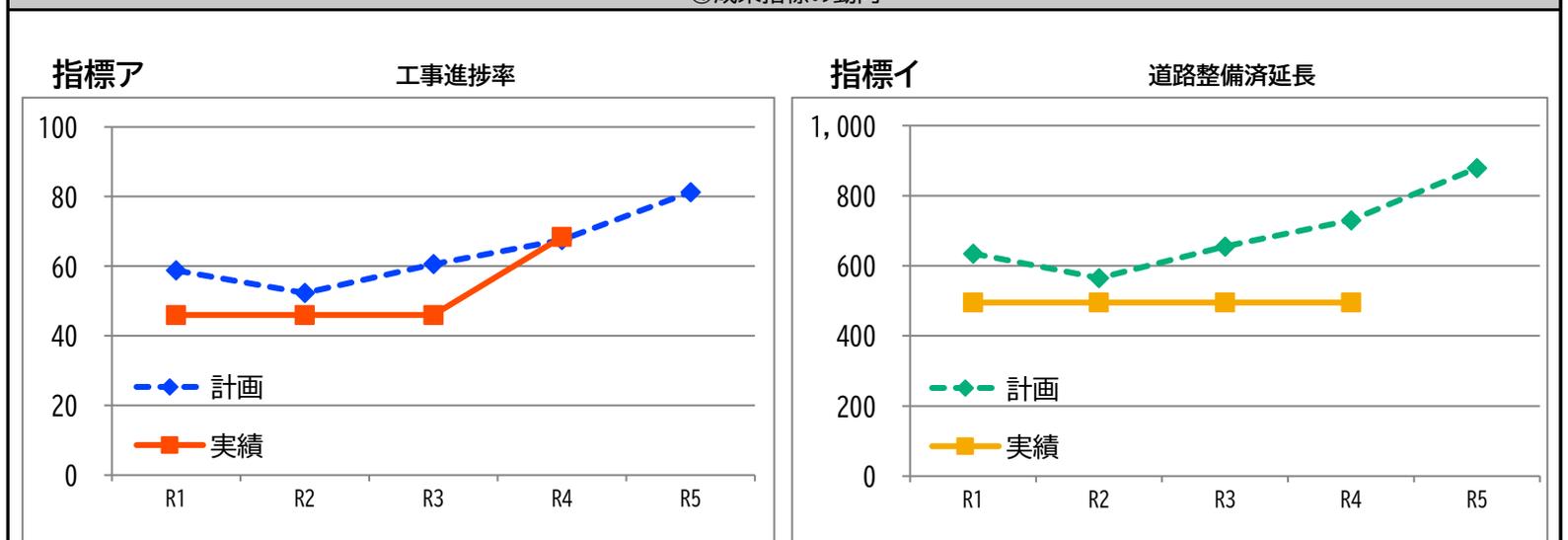
(1) 事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をやる事務事業なのか) 国道126号から、(主)大栄・栗源・干潟線までを結ぶ本路線を整備することで、広域的なネットワークが確立され、首都圏へのアクセスも多様化するなど地域の産業振興の発展と生活基盤の活性化が図られる。					
② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか) ①産業振興の発展 ②通勤時間帯の渋滞緩和・利便性の向上			③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか) 難航していた用地取得は完了したが、10年以上前に設計した道路線形に修正が生じ、工事発注が困難。 早期完了を望む要望が多数有		
④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)					
事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
用地買収 道路改良工事	⇒ 南堀之内バイパスの供用	⇒ 市民の安全・安心かつ円滑な道路交通の確保による地域の産業振興の発展と生活基盤の活性化	⇒ 主要道路の整備	⇒ 安全で快適な道路の整備	⇒ ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2) 活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績 用地買収済区間における約240mの区間について道路改良工事を実施した。(R3繰越工事) 用地買収済区間における約140mの区間について道路改良工事を実施中。(R4繰越工事)	② 活動指標		単位	R1	R2	R3	R4	R5	
	ア	用地買収率(面積ベース)	%	計画	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
				実績	100.0	100.0	100.0	100.0	
	イ	整備延長	m	計画	140	70	60	235	140
実績				0	0	0	244		
③ 成果指標		方向性	単位	R1	R2	R3	R4	R5	
ア	工事進捗率	↑ 増やす	%	計画	58.8	52.3	60.6	67.6	81.3
				実績	46.0	46.0	46.0	68.4	
イ	道路整備済延長	↑ 増やす	m	計画	635	565	655	730	879
				実績	495	495	495	495	

④ 成果指標の動向



(3)コストの状況

(単位:千円)

① 事務事業費	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算
1. 委託費	100	10,754	3,185	0	495
2. 工事費	7,550	64,040	112,826	155,967	345,034
3. 用地費	249	0	0	0	0
4. 補償費	0	0	0	0	1,396
5. 土地等借上料	0	0	0	0	500
合計	7,899	74,794	116,011	155,967	347,425
財源内訳					
国・県支出金	0	18,909	45,985	58,672	5,742
地方債	7,500	52,900	68,181	97,200	341,600
その他	0	0	0		
一般財源	399	2,985	1,845	95	83
一般財源の比率	5.1%	4.0%	1.6%	0.1%	0.0%

② 従事職員数

常時 1 人

最大 人 × 日 = 延べ 人

③ 各費目の詳細(R4決算)

1. 委託費	
2. 工事費	道路改良工事
3. 用地費	
4. 補償費	
5. 土地等借上料	

④ 特定財源の詳細(R4決算)

国・県支出金	社会資本整備総合交付金
地方債	南堀之内遊正線整備事業債
その他	

⑤ R3→R4 増減理由

道路改良工事が繰越となったため。

(4)事務事業に関する評価

① 事務事業の進捗	判定	分析(好不調の要因や対策について)	
		順調	令和6年度供用開始へ向け、既に用地取得は終了している上、計画通り道路整備が進捗しているため。
② 成果指標の推移 (R3→R4)	指標ア	判定	分析(変動の要因や対策について)
			向上
	指標イ	判定	分析(変動の要因や対策について)
			向上
③ 今後の方向性 (①・②を踏まえた R5以降の方針)	判定	方針	判定・方針の詳細
	継続実施		令和6年度供用開始へ向け、既に用地取得は終了している上、計画通り道路整備が進捗しているため。

事業コード・事務事業名	30110①	震災復興・津波避難道路整備事業 (主要道路からの観点)	予算科目	会計	款	項	目	掲載計画等
				一般	8	2	3	
施策体系	基本施策	17	安全で快適な道路の整備	担当班	建設課			
	施策の展開	34	主要道路の整備	開始年度	平成25年度			
	戦略事業名	160	震災復興・津波避難道路整備事業	根拠法令	道路法			
<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏共生ビジョン <input type="checkbox"/> 過疎地域持続的発展計画 <input checked="" type="checkbox"/> R4主要事業								

(1) 事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をやる事務事業なのか) 東日本大震災の津波被災地域における避難道路の整備及び被災地域の復興のための重要路線の整備を実施する。 横根・三川線(飯岡地区と津波避難場所である飯岡中学校を結ぶ路線) L=1.3km (平成25～) 椎名内・西足洗線(椎名内地区と災害拠点病院及び防災拠点である旭中央病院を結ぶ路線) L=3.0km (平成26～令和5年度)	
② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか) 災害時の避難道路の確保や被災地域と防災拠点のアクセス向上を図るため。	③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか) 用地取得の進捗が課題。 住民からは事業の早期完了が求められている。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目標しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
用地買収 物件補償 道路改良工事	⇒ 津波避難道路の整備	⇒ 避難道路を整備することにより、災害発生時の被害軽減と、被災地域の復興を図る。	⇒ 主要道路の整備	⇒ 安全で快適な道路の整備	⇒ ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

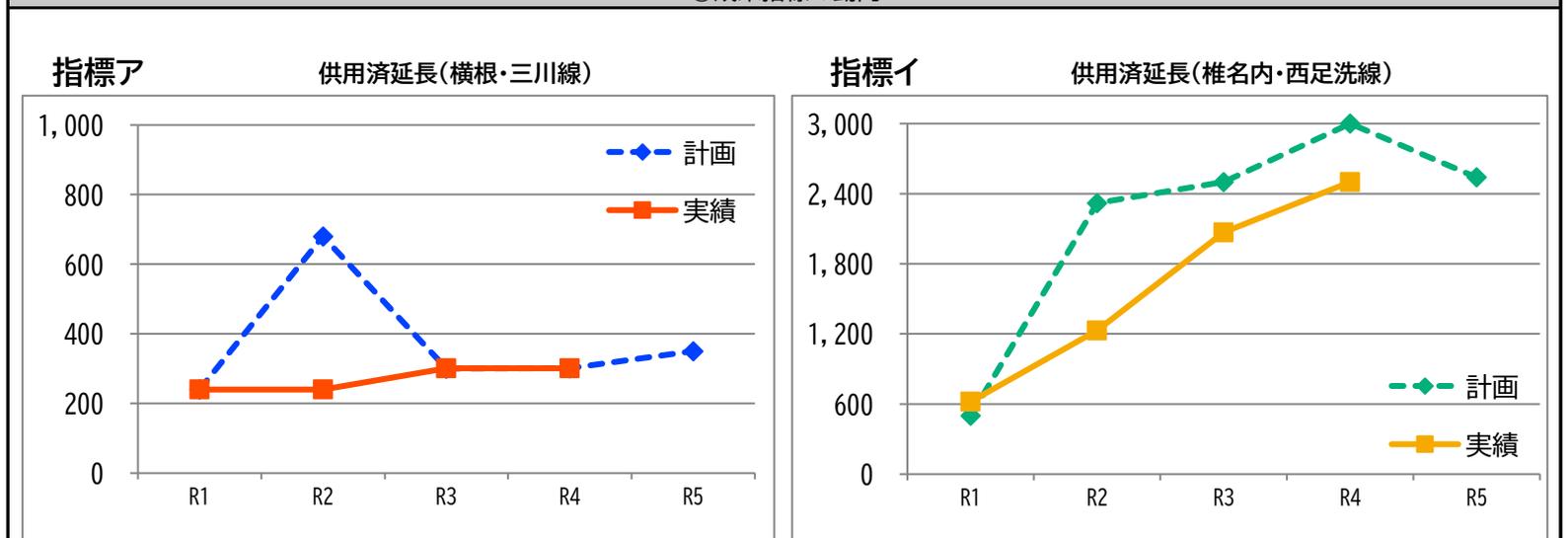
(2) 活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績 横根・三川線 道路改良工事 L=305m 椎名内・西足洗線 道路改良工事 L=430m	② 活動指標		単位	R1	R2	R3	R4	R5	
	ア	用地取得率(横根・三川線)	%	計画	100	100	87	90	90
		実績		90	100	100	100	100	
	イ	用地取得率(椎名内・西足洗線)	%	計画	75	82	87	87	87
実績		87		91	91	91	91		
イ	整備延長(横根・三川線)	m	計画	100	230	370	250	440	
	実績		650	1,700	1320	930	304		
イ	整備延長(椎名内・西足洗線)	m	計画	0	100	61	305	305	
	実績		620	1,109	1,404	430	430		

③ 成果指標		方向性	単位	R1	R2	R3	R4	R5	
ア	供用済延長(横根・三川線)	↑ 増やす	m	計画	240	680	300	301	350
				実績	240	240	301	301	301
イ	供用済延長(椎名内・西足洗線)	↑ 増やす	m	計画	500	2,320	2,500	3,000	2,540
				実績	620	1,230	2,070	2,500	2,500

④ 成果指標の動向



(3)コストの状況

(単位:千円)

① 事務事業費	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算
1. 道路改良工事	212,546	194,708	341,808	149,590	252,178
2. 補償金	26,977	21,005	24,745	0	23,500
3. 委託料	4,897	5,940	443	946	14,740
4. 用地購入費	38,954	13,881	7,295	0	21,000
5. その他	0	13	38	166	0
合計	283,374	235,547	374,329	150,702	311,418
財源内訳					
国・県支出金	84,656	53,666	112,260	23,353	243,400
地方債	0	0	0	50,700	0
その他	6,609	10,037	0	11,900	0
一般財源	192,109	171,844	262,069	64,749	68,018
一般財源の比率	67.8%	73.0%	70.0%	43.0%	21.8%

② 従事職員数

常時 2 人

最大 人 × 日 = 延べ 人

③ 各費目の詳細(R4決算)

1.道路改良工事	1-064号線、1-065号線 道路改良工事
2.補償金	物件補償費
3.委託料	不動産鑑定、物件調査、測量調査、道路詳細設計
4.用地購入費	道路用地購入
5.その他	土地等借上料

④ 特定財源の詳細(R4決算)

国・県支出金	社会資本整備総合交付金
地方債	震災復興・津波避難道路整備事業債
その他	東日本大震災復興交付金

⑤ R3→R4 増減理由

取得済み用地が減少し、工事費も減少した。

(4)事務事業に関する評価

① 事務事業の進捗	判定	分析(好不調の要因や対策について)	
		概ね順調	横根三川線 用地取得済区間の暫定整備を行った。道路用地を使用して避難行動が可能となり、地域の防災機能が向上した。 椎名内西足洗線 道路改良工事を行い供用開始延長を伸ばすことができ、避難道路として機能は向上した。
② 成果指標の推移 (R3→R4)	指標ア	判定	分析(変動の要因や対策について)
			伸び悩み
	指標イ	判定	分析(変動の要因や対策について)
			向上
③ 今後の方向性 (①・②を踏まえた R5以降の方針)	判定	方針	判定・方針の詳細
	継続実施		横根三川線 取得済の道路用地の工事を行い、避難機能を強化するとともに未取得用地の交渉を継続する。 椎名内西足洗線 終点側(西足洗地区)において、銚子連絡道と交差するため、道路線形を再度検討する必要がある、千葉県と調整を進めていく。

事業コード・事務事業名	30220	橋梁長寿命化修繕事業	予算科目	会計	款	項	目	掲載計画等
			一般	8	2	4	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏共生ビジョン <input checked="" type="checkbox"/> 過疎地域持続的発展計画 <input type="checkbox"/> R4主要事業	
施策体系	基本施策	17	安全で快適な道路の整備	所管課	建設課			
	施策の展開	36	市道の整備	担当班	土木班			
	戦略事業名	173	橋梁長寿命化修繕事業	開始年度	平成25年度			
			根拠法令	道路法				

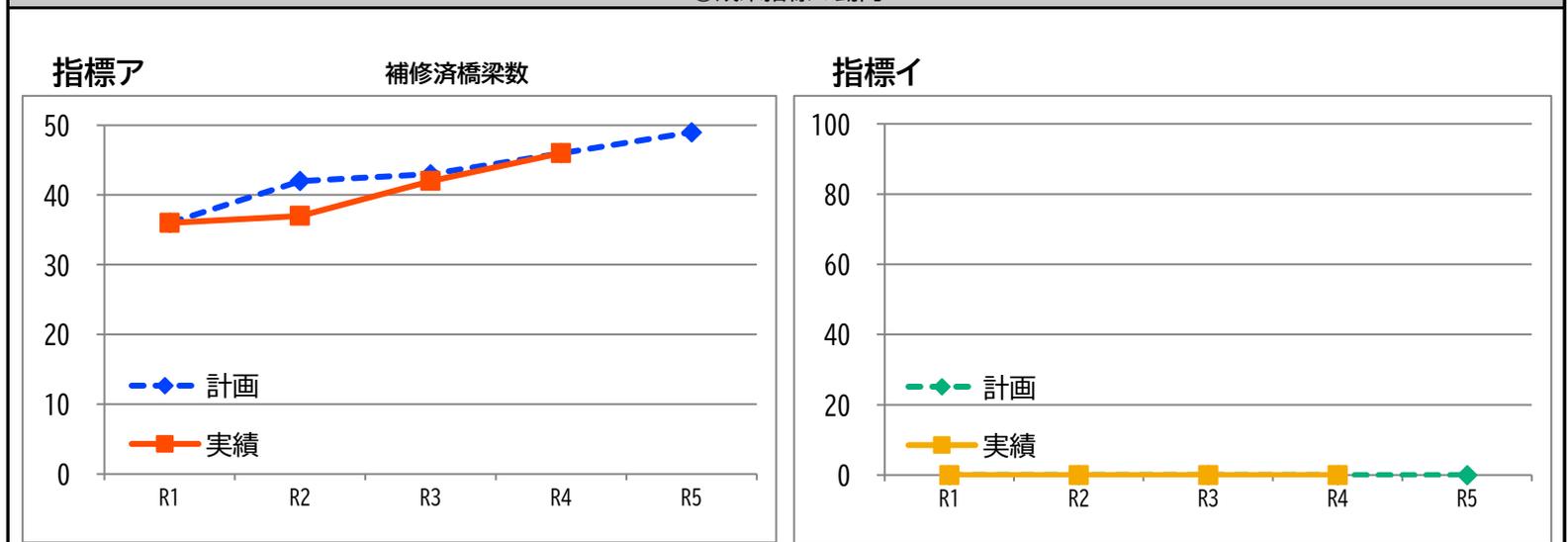
(1) 事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)					
旭市橋梁長寿命化修繕計画に基づいた、予防保全型の維持管理を行う。 旭市管理橋梁 309橋					
② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)			③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)		
従来の対処療法的な修繕から予防保全的な修繕への転換を図り、長寿命化によるコスト削減を図る。			進展する橋梁の老朽化に対し、効率的かつ効果的な維持管理を行う必要がある。		
④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)					
事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
橋梁の点検・設計・補修工事	⇒ 橋梁長寿命化計画に基づき、健全度が低い橋梁への工事	⇒ 健全度の改善された橋梁	⇒ 市道の整備	⇒ 安全で快適な道路の整備	⇒ ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2) 活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績 令和元年度より行っている橋梁法定点検2橋を実施する。袋橋外2橋補修設計し、川西橋外3橋の補修工事を行い、健全度の回復を図った。	② 活動指標		単位	R1	R2	R3	R4	R5	
	ア	補修橋梁数	橋	計画	0	6	6	4	3
				実績	0	1	5	4	
	イ	点検橋梁数	橋	計画	75	127	97	2	0
			実績	74	136	106	2		
③ 成果指標		方向性	単位	R1	R2	R3	R4	R5	
ア	補修済橋梁数	↑ 増やす	橋	計画	36	42	43	46	49
				実績	36	37	42	46	
イ				計画					
				実績					

④ 成果指標の動向



(3)コストの状況

(単位:千円)

① 事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算
費目内訳	1. 工事請負費	0	1,155	7,817	23,444	12,491
	2. 委託料	22,152	34,424	30,473	14,570	30,573
		0	0	0		
		0	0	0		
合計		22,152	35,579	38,290	38,014	43,064
財源内訳	国・県支出金	7,150	13,750	11,037	4,037	31,080
	地方債	0	0	0	15,400	
	その他	0	0	0		
	一般財源	15,002	21,829	27,253	18,577	11,984
	一般財源の比率	67.7%	61.4%	71.2%	48.9%	27.8%

② 従事職員数

常時 4 人

最大 人 × 日 = 延べ 人

③ 各費目の詳細(R4決算)

1. 工事請負費	橋梁改修工事
2. 委託料	調査・設計委託、調査・測量委託

④ 特定財源の詳細(R4決算)

国・県支出金	道路メンテナンス事業費補助金
地方債	橋梁改修事業債
その他	

⑤ R3→R4 増減理由

(4)事務事業に関する評価

① 事務事業の進捗	判定	分析(好不調の要因や対策について)	
	 順調	点検結果に基づき、対象橋梁の設計を行っている。	
② 成果指標の推移 (R3→R4)	指標ア	判定	分析(変動の要因や対策について)
		 向上	橋梁長寿命化計画に基づき工事を行った。
	指標イ	判定	分析(変動の要因や対策について)
③ 今後の方向性 (①・②を踏まえた R5以降の方針)	判定	方針	判定・方針の詳細
	継続実施		修繕計画の更新 橋梁維持補修工事の発注 橋梁設計業務委託